












情報連絡員だより

－平成29年2月分の報告より－

売上低迷期の中、収益悪化が目立つ

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 売上低迷期の2月を迎える中、原油価格の上昇や親企業によるコストダウン要請、競争激化等が収益を圧迫している。また、人手不足感が続く中、人件費負担増に苦慮する一方で、廃業も散見される。
製 造 業	食 料 品	 パンは残業時間の規制強化や時間給上昇等による、人件費上昇を懸念。製麺は例年以上に荷動きが鈍く、業務用では大手の冷凍麺にシフトする動きが加速。食肉は大口の生産農家の生産数減少で、と畜頭数が減少。
	織 維 ・ 同 製 品	 桐生織物は輸出向けが低調の中、夏物和装の売上に期待。ニットは秋冬用のサンプル作成に取り組むも、昨年から続く売上不振と収益悪化を懸念。伊勢崎織物は和装織物の装飾品が人気となる反面、反物の売上は低調。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	 コンクリートブロックは受注低迷の中、今後の見通しに不透明感が漂う。コンクリート製品は原材料・原油価格が上昇するも、競争激化で価格転嫁は困難な状況。砕石は景況感の悪化に歯止めがかからず苦戦が続く。
	機 械 ・ 金 属	 米国の政策動向を引き続き注視する中、比較的堅調に推移するも、原材料価格上昇やコストダウン要請、人手不足による人件費増で収益悪化。鍍金は親企業の生産拠点の海外移転により、下請中小企業は大きな打撃。
	そ の 他 の 製 造 業	 紙加工品は海外の旺盛な古紙需要により、品薄感が高まり国内の古紙価格が上昇。印刷は売上が減少する中、一部の企業では新たな受注獲得を目指し、今後に期待。ゴムは原油価格の上昇等による原材料高に苦慮。
非 製 造 業	卸 売 業	 高崎卸は恒例の「問屋街わけあり処分市」を開催し、来場者は3千人超と盛況。前橋卸は道路整備による交通量増加で事故が多発、対策を検討。太田のタイヤ卸は安価な海外製品の流入で販売価格が下落し利益が減少。
	小 売 業	 燃料小売は元売子会社のセルフ給油所における安値販売が、地場の給油所の経営を圧迫。生花小売は業界が推進する「フラワーバレンタイン」の浸透に苦戦し低迷。商店街は寒気や降雪等の影響で客足が伸び悩み売上減。
	サ ー ビ ス 業	 温泉旅館は、春節等で外国人客が増加し、十分な積雪でスキー客も前年比増。不動産取引は藤岡市域において、アパート経営者が柔軟な対応で空室対策を行うも、中心市街地では住宅用・事業用ともに需要が低迷。
	建 設 業	 建設工事は来年度からの公共工事設計労務単価の引き上げで、明るい兆しが見られるも、依然として公共工事の受注量は減少傾向。電気工事は後継者不足による零細企業の廃業が相次ぐ。鉄構は工期・工程の遅れが常態化。
	運 輸 業	 荷動きが低調の中、高速道路利用の増加や燃料価格の上昇等で経費負担が増している。自動車関係は就職シーズンに向けた増産傾向で好調。小型運送はネット通販の翌日配送サービスの影響で宅配依頼が増加傾向。